

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：中学校教育用コンピュータ等活用基金								
補助事業者名	武蔵村山市								
実施場所	市内全中学校（5校）								
補助事業の成果の目標	<p>学習指導要領において、生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ることと規定されている。</p> <p>これを踏まえ、市内の全中学校の各パソコン教室に教育用コンピュータを整備することで、生徒が新しい知識の習得に活用するほか、インターネットの普及による多種多様の危険や犯罪に巻き込まれないよう情報リテラシー教育を徹底し、急速に発展する高度情報社会に主体的に対応できる情報活用能力の育成をするなど学習活動の充実を図る。</p> <p>【参考指標】</p> <p>市内生徒用コンピュータ数 200台 市内中学校生徒数2,078人（平成27年1月末現在） （第一 482人、村山学園第二 202人、第三 296人、大南学園第四 429人、第五 669人）</p>								
補助事業の内容	市内全ての中学校（5校）に教育用パソコン及びソフト等を整備。								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成23年度から平成26年度 基金の処分：平成24年度から平成29年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	23	29,711,000				29,711,000		29,711,000	
	24	15,583,000				15,583,000	9,808,000	35,486,000	9,808,281
25	17,000,000			12,900	17,012,900	15,400,000	37,098,900	15,413,013	
26	17,000,000				17,000,000	16,800,000	37,298,900	16,814,196	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 各中学校の教職員宛に教育用コンピュータの活用状況等についてアンケート調査を実施したところ、正しい知識を得るために、ルールを守った使い方の指導や簡単なプログラミングや計測システムを利用した作品制作等、生徒が新しい知識を習得するために役立っているなど多くの成果が寄せられたことから、学習活動の充実が図られていると判断する。 〔地域住民への周知の実施状況〕 ・市ホームページ及び市報に掲載した。 ・教育委員会が発行する機関誌に掲載した。								
事業の改善措置及び今後の対応	各校に実施したアンケート結果を活用し、他校の利用状況を共有するなどして、PC教室をより有効に活用できるよう改善していきたい。								
事業の評価に際しての第三者機関の有無	有。平成26年度に実施した平成25年度教育委員会事務事業点検・評価の中で、「教育用・教員用コンピュータの整備」が二次（外部）評価対象事業となり、「教育用コンピュータについては、今では必要不可欠である情報活用能力の向上に役立つと考える。」等の評価を得た。								